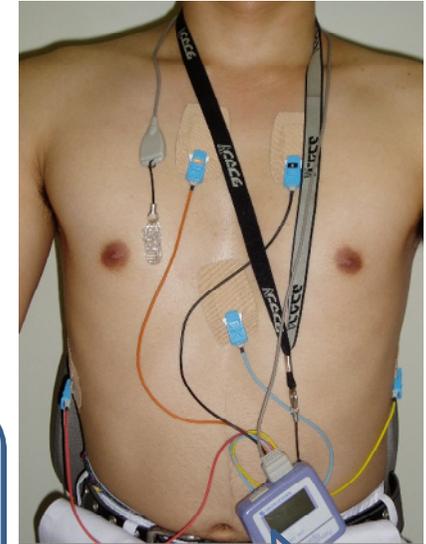


## 入浴対応のホルター心電図検査

当院は 2018年2月、大きさ28×42×9mm、重さ13g、入浴レベルの防水性能を持つ超小型軽量のホルター心電図装置を導入しました。今までは、図に示したように装置から出る5本のコードを5カ所に貼り付けた電極に取り付け、重さ100gの記録器は首から下げて貰うように装着していました。さらに記録器は精密機械であり水が掛かると故障の原因となることから、入浴はもとよりシャワーも厳禁とさせていただいておりました。

新しい装置は、とてもシンプルで、長いコードもなくコンパクトになっておりすべてが服の中に納まるようになっています。そして、なによりも温かい浴槽にゆったりと浸かれること、夏場はシャワー浴も可能な防水対応になりました。また、今までは症状や行動などを手書きで紙に記録していただいていたのですが、ボタンを押すだけで簡単に記録できるようになり、患者さんの手間が軽減しました。

我が国は浴槽に浸かる入浴形式が定着しており、入浴中の心血管事故が多く発生していることが分かっています。新しい装置によるホルター心電図検査は、生活環境を向上させ季節に関係なく行えることから、入浴にまつわるヒートショックなどの心血管事故の早期発見や予防に役立つものとして、大いに期待されています。



新しい記録器



今までの記録器

